

# 河内小だより

平成22年10月8日 No.25



今日で前期が終了しました。全員揃って終えたことに感謝申し上げます。さて、広島市が3学期制から2学期制になったのはいつだったのでしょうか。平成19年度に導入され、今年度で4年目となりました。学校教育の向上を目指していろいろと取り組んでいますが、学期末が2回に減ったことにより時間的な余裕が生まれ、子どもたちと向き合う時間と授業数を多くすることとは、多少できたような気がします。しかし、教育改革への諸取組として、いろいろな行事や事務や研修等が増えたので、教職員は多忙になっているのが実態です。子どもたちの生活も、じっくりと取り組む事柄が減り、時間に追われる日々が多くなっているのではないのでしょうか。

子どもたちは、「あゆみ」を担任の先生から受け取ります。保護者の皆様には、「あゆみ」を仲立ちとして向き合い、子どもが頑張ったことはしっかり誉めて共に喜び、さらに向上できるよう励ましてあげてください。また、改善しなければならないことは、具体的な方法を話し合い、協力して根気よく取り組むことが大切です。学習の原点は向上しようとする「やる気」です。家族として助け合う気持ちと行動力が、子どもたちの学力を伸ばしていく原動力になると思います。



## 子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言われて育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
褒めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、  
この世の中はいいところだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」(PHP文庫)より